

福祉センター・平成14年度にオープン 市民の保健・医療・福祉を 支えます

保健・医療・福祉が一体となった総合保健福祉施設「福祉センター」の建設が始まりました。平成14年度のオープンに向けて工事の進む、福祉センターの概要を紹介します。



福祉センター完成予想図

少子高齢化社会の ニーズに応えて

福祉センターの建設が、平成14年度のオープンに向けて進んでいます。

この福祉センターは、少子高齢化社会の多様なニーズに応える、保健・医療・福祉サービスの中核となる施設です。現在、第1期工事として建設中の本館のほか、第2期工事として平成15年以降に完成予定の簡易マザーズホーム（現在の場所から移転）、休日夜間急病診療所が一体となり、市民のみなさんが、健康で安心して暮らせるためのお手伝いをしていきます。

施設の機能は？

福祉センターでは、保健・医療



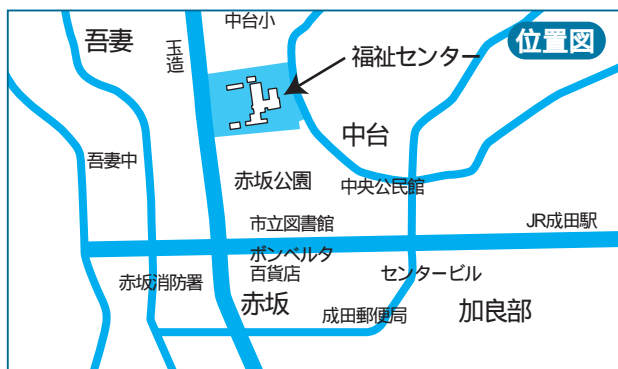
保健サービスがさらに充実します

療・福祉の3つの面から総合的なサービスを提供します。

現在、建設されている本館には、保健センター、地域福祉センター、在宅介護支援センター、精神障害者福祉作業所などが入ります。

保健センターは、現在加良部にある保健センターが移転し、歯科指導室・機能回復訓練室を新たに設置して面積は約2倍に。健診や教室、相談など、保健サービスのさらなる充実を図ります。

地域福祉センターには、多目的ホールやボランティアセンター、キッズルーム、シニアサロンなどを設置し、あらゆる世代の人が利用できるようにします。また、在宅介護支援センターでは介護用品



【本館の主な施設】

保健センター

歯科指導室（A）、機能回復訓練室（B）など、さらに充実した設備でみなさんの健康管理のお手伝いをします。

地域福祉センター

子どもからお年寄りまで誰でも気軽に自由に利用できるスペースです。子育て支援の拠点になるキッズルーム（C）、高齢者の団らんや憩いの場となるシニアサロン（D）、講演会や教室などさまざまなイベントを大人で行うことができる多目的ホール（E）などがあります。

在宅介護支援センター

さまざまな介護用品を展示するほか、在宅介護の相談などを受け付けます。

精神障害者福祉作業所

作業指導や生活訓練などを通じて、社会的自立のお手伝いをします。

言葉の相談室

言葉に、遅れや障害のある人の訓練や相談を行います。

軽食・喫茶コーナー

事務室

【本館オープン後に建設される施設】

簡易マザーズホーム

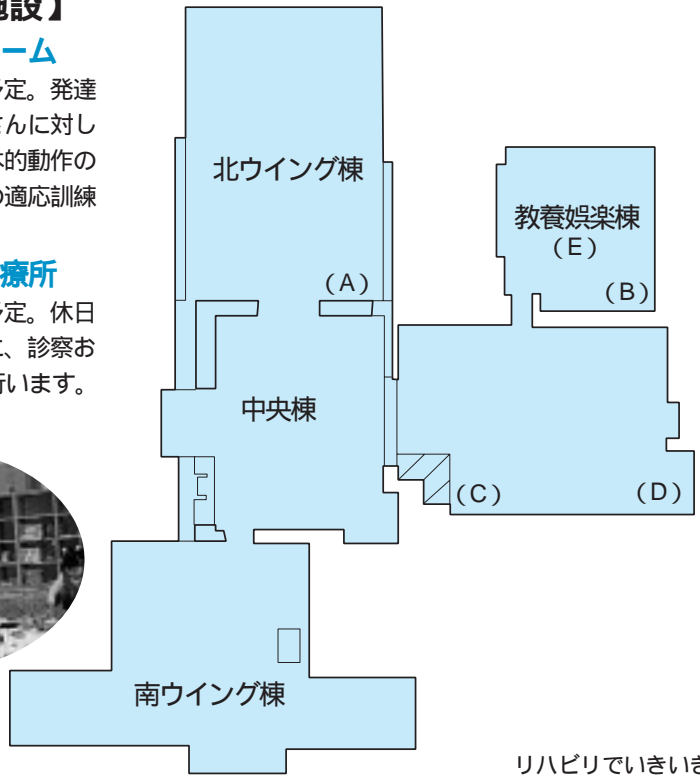
平成15年に完成予定。発達に遅れのあるお子さんに対して、日常生活の基本的動作の指導や集団生活への適応訓練を行います。

休日夜間急病診療所

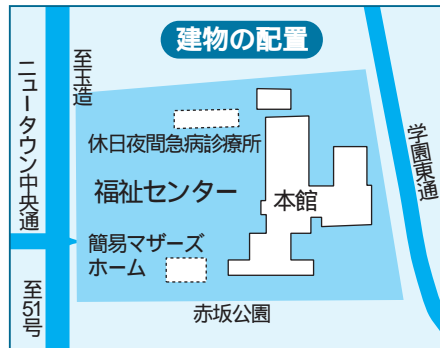
平成15年度完成予定。休日や年末年始の夜間に、診察および簡易な治療を行います。



キッズルームでのびのび子育て



リハビリでいきいきと



早くできるといいですね



— 来年オープン福祉センター。この施設に期待を寄せる市民の声を八生公民館で聞きました。 —

加藤邦子さん（大竹）

福祉センターがニュータウンにできるという話は聞いていましたが、こうして完成予想図を見ると、とても落ち着いた感じの建物ですね。敷地も広いですし、福祉や健康に関する施設がなんでもあるという感じです。早くできるといいですね。相談などいろいろできるみたいなので、思い立ったときに気軽に立ち寄ることができそうです。サークルで中央公民館によく行きますから、これからは福祉センターも一緒に利用したいと思います。

建物は木造平屋建て約5、000㎡。右ページのイラストのように木造ならではの、落ち着きと温かみの感じられるデザインです。平面でまとめられた施設内はバリアフリー仕様で、だれでも快適に

快適で便利な施設を目指して

の展示や相談業務を、精神障害者福祉作業所では作業や生活訓練の指導を行うなど、さまざまな角度から福祉の充実に取り組みます。さらに、第2期工事として簡易マザーズホーム、休日夜間急病診療所を建設し、保健・医療・福祉の連携をより深めることを目指します。

利用することができます。ゆったりとした敷地と施設は隣接する赤坂公園と一体となつて、市民のみなさんに憩いのスペースを提供します。また、相談業務の充実はもちろん、ボランティア活動の拠点としての役割や、保健・医療・福祉に関するさまざまなイベントの開催なども計画しています。小さな子どもからお年寄りまで、訪れたみなさんにとって、快適で便利な施設となることを目指して建設を進めていきます。

福祉センターについてくわしくは保健福祉計画課（☎20 15 35）へ。